

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主総会等の基準日	(1)定時株主総会 3月31日 (2)その他の基準日 前項のほか必要あるときは取締役会の決議により あらかじめ公告して設定
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（フリーダイヤル） 大阪証券取引所 市場第二部 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ホームページ http://www.mansei.co.jp/
上場証券取引所 公告方法	

●お知らせ

- 1.株券電子化によるご注意
- (1)株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- (4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

- 2.配当金計算書について
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。

●期末配当金について

	普通配当1株につき7円		
(ご参考)	中間配当金	期末配当金	年間配当金
	1株につき3円	1株につき7円	1株につき10円



下記のホームページに株主・投資家の皆様向けのIR情報を掲載しております。最新の会社業績をはじめとするさまざまな情報をご案内しておりますので、どうぞご利用ください。

<http://www.mansei.co.jp/>



第66期
年次報告書

平成23年4月 1日から
平成24年3月31日まで



取締役社長
占部正浩

これからも『お客様のベストパートナーとして、
ともに成長する企業』であり続けます。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第66期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の年次報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

国内産業の空洞化やアジア経済の発展など、いま当社を取り巻く経営環境は大きく変化し続けております。当社といたしましては、収益基盤を強化し人材を育成して組織の活性化を図ることで、企業価値の向上に努めてまいります。そしてつねにお客様のベストパートナーであり続け、ともに成長する企業を目指してまいります。

(平成24年6月)

■ Q 当期の市場環境と業績、その評価についてお聞かせください。 ■

当期における日本経済は、東日本大震災の影響を大きく受け、復旧・復興活動が急がれる中でのスタートとなりました。その後、サプライチェーンの建て直しが進むにつれ、国内生産や個人消費は緩やかに回復してきました。しかし一方で、欧州債務危機に端を発する世界経済減速感や円高進行、原油価格高騰などがあり、日本経済の情勢は依然として先行き不透明な状況となっています。

当社グループの関連する業界におきましては、国内設備投資は一部回復が見られ明るい兆しはあるものの、依然として市場環境は厳しい状況にあります。

そうした中で、当社グループは、商品調達及び供給の改善に努めるとともに、既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓に努めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は208億59百万円(前期比5.7%減)、営業利益は4億9百万円(同比46.3%増)、経常利益は4億1百万円(同比45.6%増)、当期純利益は1億95百万円(同比52.5%増)の、減収増益となりました。

■ Q 増益を牽引することになった要因はどのようなことでしょうか。 ■

電気機器・産業用システム事業において、受変電設備の大型案件が減少したものの、製造業を中心にFA機器の更新需要が伸長したこと、配電制御機器、駆動機器、コントローラが堅調に推移したことがあげられます。

また設備機器事業において、工場・ビル・店舗の省エネルギーリニューアル案件を中心に業務用空調機器及びチラーなどの冷熱機器が大きく伸長したこと、生産設備の増強に伴う電気設備工事が増加したことが牽引力となりました。

■ Q 次期(第67期)の注力施策と目標をお聞かせください。 ■

次期の日本経済は、震災復旧・復興の進捗に伴って緩やかな回復傾向をたどりつつも、原油高、電力不足、欧州情勢及び新興国経済減速への懸念などから、引き続き予断を許さない状態が続くものと予想されます。

そこで当社グループは、新規顧客の開拓、既存顧客の深掘と関係強化、取扱商材の拡大に注力し、新規需要の発掘に取り組んでまいります。経済成長著しいアジア市場へは、香港・上海の両現地法人与連携し、市場の掘り起こしに取り組んでまいります。また、人材育成を強化することで組織の活性化を図り、持続的な成長を実現してまいります。

次期目標値につきましては、売上高210億円(前期比0.7%増)、営業利益4億20百万円(同比2.5%増)、経常利益4億20百万円(同比4.5%増)、当期純利益2億10百万円(同比7.3%増)を想定しております。

■ Q 株主利益還元施策についてお聞かせください。 ■

当社では株主の皆様への利益還元を最重要テーマと捉え、業績及び経営環境を総合的に勘案して配当施策を行っております。

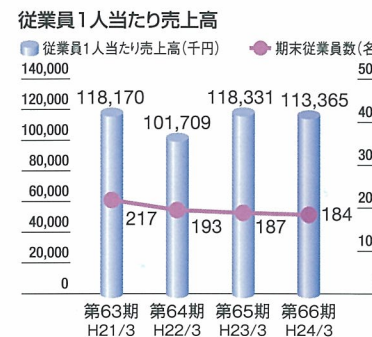
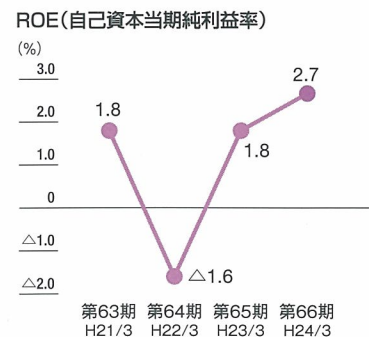
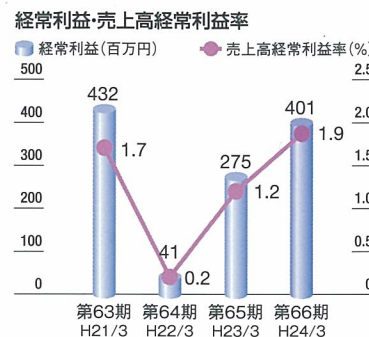
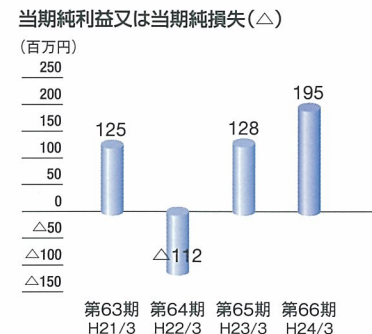
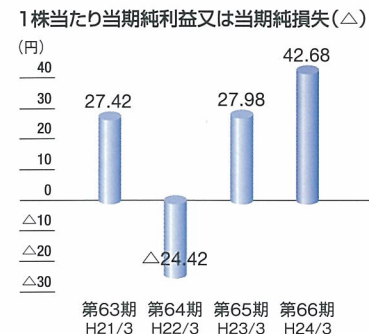
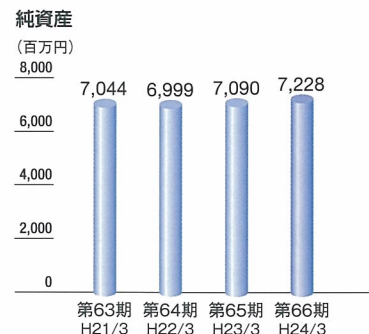
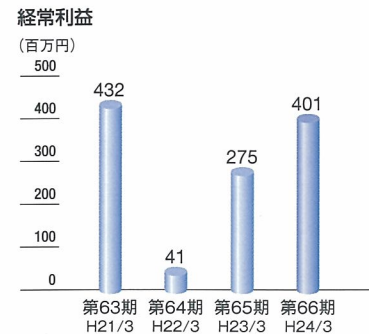
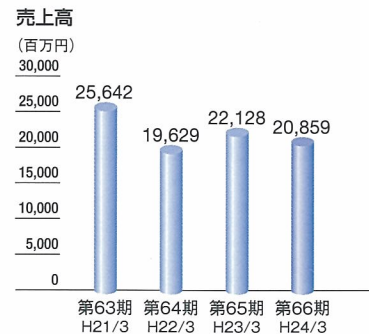
第66期の期末配当につきましては、1株につき7円とさせていただきます。従いまして、中間配当金として1株につき3円をお支払いしておりますので、年間配当金は1株につき10円となります。

今後も着実に業績を伸長し、株主の皆様のご支援とご期待に応えてまいります。

■ Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。 ■

当社では今後、部門連携を強化しつつ、技術部門の技術力向上を図ることで他社との差別化を推進してまいります。また技術力の高い協業先との連携を図りながら、顧客ニーズに的確に対応し、より一層の業績向上に努める所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



電気機器・産業用システム



FA機器事業



産業メカトロニクス・産業プラント事業

電気機器・産業用システムにつきましては、受変電設備の大型案件の減少がありましたが、製造業を中心にFA機器の更新需要が伸長し、配電制御機器、駆動機器、コントローラが堅調に推移しました。

この結果、部門全体では前期比3.1%の増収となりました。

電子デバイス・情報通信機器



半導体事業



デジタル・映像事業

電子デバイス・情報通信機器につきましては、産業用パワー半導体はますますで推移しましたが、デジタル家電用電源向けICが大幅に減少し、またアミューズメント向けFAパソコンは前期の大型案件が剥落したため大きく減少しました。

この結果、部門全体では前期比24.1%の減収となりました。

設備機器



ファシリティー事業

設備機器につきましては、住設機器は減少しましたが、工場・ビル・店舗の省エネ・リニューアル案件を中心に業務用空調機及びチラーなどの冷熱機器が大きく伸長し、また生産設備の増強に伴う電気設備工事も増加しました。

この結果、部門全体では前期比9.4%の増収となりました。

セグメント別売上高構成比

設備機器

4,034百万円
19.3%

電気機器・産業用システム

10,718百万円
51.4%

電子デバイス・情報通信機器

6,106百万円
29.3%売上高
20,859百万円



あらゆる場所で貢献する多彩なテクノロジー

萬世電機は、高度な情報社会と地球環境に調和した製品を幅広く取り扱う技術商社です。

国内のみならず、経済成長著しいアジア市場へも展開していきます。

高度なテクノロジーが、多彩なフィールドで息づいています。

FA機器事業

ACサーボやインバータなどの駆動制御機器、シーケンサなどのコントローラ機器、遮断器や変圧器などの配線機器、モートルや産業扇などの回転機器を、システムコンサルティングの視点から捉えて提案します。

【製品】



● シーケンサ



● インバータ

- 駆動 (ACサーボ)
- 制御 (表示器/省配線)
- 配線制御 (ブレーカ/電磁接触器/高効率トランス)
- 安心・安全対策 (UPS/蓄電池)
- トレーサビリティ (バーコードリーダ)
- 検査 (変位センサー)
- 搬送・組立 (ロボット)

【製品】

- タブレット、モバイルPC
- ディスプレイ
- FAパソコン
- タッチパネル
- マザーボード
- プリンター
- プロジェクター
- 監視機器



● マルチ画面



● 昇華型プリンター

デジタル・映像事業

情報通信システムの構築や、ディスプレイによるビジュアルコミュニケーション、そして、これらに付随する情報保護・セキュリティ対策。

システムの導入立案、設備工事から開発・導入支援、サポートまでをトータルでお客様のニーズに合わせて最適な製品やシステムをご提案し、円滑なネットワークの構築と確実かつ広域な情報発信のお手伝いをいたします。



産業メカトロニクス・産業プラント事業

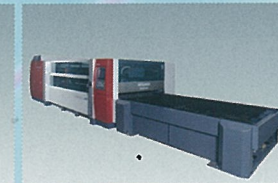
産業用ロボットやワイヤカット・NC放電加工機・レーザー加工機・CNC装置をご提供します。

また、生産設備や諸システムの保全・IT化の対応に加え、環境問題に即応した環境・省エネ対策をACサーボ・インバータ・シーケンサなどを応用したFAシステムをプランニングから導入、稼働までをきめ細かくフォローしています。

【製品】



● 放電加工機



● レーザー加工機

- 数値制御装置
- タレットパンチプレス機
- プレスブレーキ
- ロボット
- 受変電・発電システム
- 産業用オートメーションシステム
- モータ&ドライブシステム



ファシリティ事業

エコをテーマにビルや商業施設、工場などが構成するあらゆる住環境施設を設計・施工・アフターサービスまでトータルにサポートします。

また、クリーンルームで培った空調技術と照明技術を応用し、室内で栄養価の高い野菜を短期間で栽培する植物工場を作り上げました。

【製品】



● 水冷式チラー



● 設備用パッケージエアコン

- エレベーター・エスカレーター
- LED照明
- 太陽光発電システム
- 植物工場
- ロスナイ (換気扇)
- 冷凍・冷蔵クーリングユニット
- エア搬送ファン
- リーフラボ (植物栽培ケース)

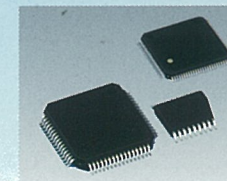


半導体事業

市場ニーズにお応えすべく、規格品からカスタム製品まで国内及び海外製の半導体・デバイス商品を取り扱っています。

また、それに関連するシステム開発、ソフト開発やEMS事業 (電子機器の受託生産サービス) など推進しています。

【製品】



● 半導体



● 表示機器

- 電源用部品
- 組込デバイス
- スイッチ
- プリント基板
- ノイズ対策品



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)					
科 目	当 期 平成24年3月31日現在	前 期 平成23年3月31日現在	科 目	当 期 平成24年3月31日現在	前 期 平成23年3月31日現在
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	13,776,982	13,760,001	流動負債	7,942,077	8,212,507
現金及び預金	3,909,745	3,138,285	支払手形及び買掛金	7,048,576	7,280,670
受取手形及び売掛金	8,755,381	9,210,645	短期借入金	351,546	350,000
商品	562,727	700,483	未払法人税等	115,859	160,356
繰延税金資産	92,328	100,727	賞与引当金	158,009	158,254
未収入金	454,522	598,988	役員賞与引当金	24,000	22,000
その他	18,036	25,608	その他	244,086	241,225
貸倒引当金	△15,760	△14,737	固定負債	402,409	404,712
固定資産	1,795,510	1,947,529	退職給付引当金	151,573	156,619
有形固定資産	313,462	330,758	役員退職慰労引当金	189,900	187,600
建物及び構築物	140,021	152,404	その他	60,936	60,493
土地	165,074	165,074	負 債 合 計	8,344,487	8,617,219
その他	8,366	13,279	(純 資 産 の 部)		
無形固定資産	37,774	46,427	株主資本	7,222,854	7,072,978
投資その他の資産	1,444,273	1,570,343	資本金	1,005,000	1,005,000
投資有価証券	981,536	1,137,473	資本剰余金	838,560	838,560
繰延税金資産	96,061	66,793	利益剰余金	5,387,161	5,237,286
その他	394,035	401,796	自己株式	△7,867	△7,867
貸倒引当金	△27,359	△35,720	その他の包括利益累計額	5,151	17,333
資 産 合 計	15,572,492	15,707,531	その他有価証券評価差額金	21,117	32,282
			為替換算調整勘定	△15,966	△14,949
			純 資 産 合 計	7,228,005	7,090,311
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	15,572,492	15,707,531

POINT 連結貸借対照表のポイント

流動資産は前期比16百万円増の137億76百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金は4億55百万円減少しましたが、現金及び預金が7億71百万円増加したことによるものです。

固定資産は前期比1億52百万円減の17億95百万円となりました。これは主に投資有価証券が1億55百万円減少したことによるものです。

流動負債は前期比2億70百万円減の79億42百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

純資産合計は前期比1億37百万円増の72億28百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

連結損益計算書

(単位:千円)		
科 目	当 期 平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで	前 期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで
売上高	20,859,199	22,128,066
売上原価	18,262,882	19,699,031
売上総利益	2,596,316	2,429,035
販売費及び一般管理費	2,186,649	2,149,071
営業利益	409,667	279,963
営業外収益	24,167	43,268
受取利息	6,179	11,537
受取配当金	7,981	6,719
助成金収入	—	9,693
社宅家賃収入	3,612	3,313
為替差益	1,862	—
その他	4,532	12,004
営業外費用	32,087	47,388
支払利息	3,103	4,152
売上割引	12,521	12,014
支払手数料	2,000	2,000
為替差損	—	8,065
投資事業組合運用損	8,636	19,412
開業費	3,774	—
その他	2,051	1,743
経常利益	401,747	275,843
特別利益	8,206	780
貸倒引当金戻入額	—	780
投資有価証券売却益	8,206	—
特別損失	382	4,202
固定資産除却損	117	1,994
投資有価証券評価損	—	2,208
投資有価証券売却損	265	—
税金等調整前当期純利益	409,570	272,421
法人税、住民税及び事業税	190,472	156,799
法人税等調整額	23,359	△12,756
法人税等合計	213,832	144,043
少数株主損益調整前当期純利益	195,738	128,378
当期純利益	195,738	128,378

POINT 連結損益計算書のポイント

売上高は前期比12億68百万円減の208億59百万円、営業利益は同比1億29百万円増の4億9百万円、経常利益は同比1億25百万円増の4億1百万円、当期純利益は同比67百万円増の1億95百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)		
科 目	当 期 平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで	前 期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	720,161	26,386
投資活動による キャッシュ・フロー	94,716	△45,095
財務活動による キャッシュ・フロー	△44,316	△37,516
現金及び現金同等物に 係る換算差額	898	△1,978
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	771,459	△58,203
現金及び現金同等物の 期首残高	1,638,285	1,696,488
現金及び現金同等物の 期末残高	2,409,745	1,638,285

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

現金及び現金同等物の期末残高は前期比7億71百万円増の24億9百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な増減要因は次のとおりであります。

営業活動により得られた資金は7億20百万円で、主に税金等調整前当期純利益を4億9百万円計上したことに加え、売上債権の減少により資金が4億36百万円増加したことによるものです。

投資活動により得られた資金は94百万円で、主に有価証券の取得により資金は1億1百万円減少しましたが、有価証券の売却により資金が1億92百万円増加したことによるものです。

財務活動により使用した資金は44百万円で主に配当金の支払によるものです。



会社情報 & 株式情報

● 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

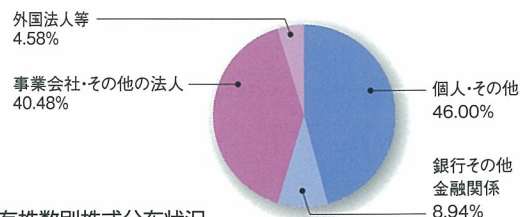
発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式の総数 4,600,000株
株主数 462名
単元株式数 1,000株

大株主(上位10名)

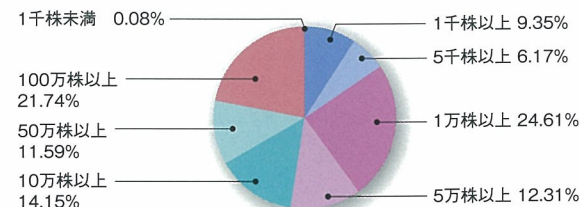
株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,000 (千株)	21.81 (%)
日光産業株式会社	533	11.62
萬世電機従業員持株会	191	4.19
ソシエテジエネラルエヌアール エイエヌオーデイティ	129	2.81
株式会社サンセイテクノス	120	2.62
株式会社三菱東京UFJ 銀行	110	2.40
東洋電機製造株式会社	100	2.18
シティグループ証券株式会社	91	1.98
占部正浩	88	1.92
竹田和平	83	1.81

(注)持株比率は自己株式(13,703株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



● 会社の概要 (平成24年3月31日現在)

社名 萬世電機株式会社
(英文社名 MANSEI CORPORATION)
設立年月日 昭和22年5月29日
資本金 10億5百万円
従業員 184名
事業所 本社 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番30号
神戸支店 〒652-0874 神戸市兵庫区高松町2番3号
東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田17番9号
TCUビル7階
関係会社 萬世電機香港有限公司
万世電機貿易(上海)有限公司

● 役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役 取締役会長	占部 嘉英	社外取締役	宮本 敦央
		常勤監査役	柴田 喜一郎
代表取締役 取締役社長	占部 正浩	社外監査役	谷間 高
		社外監査役	柳田 雅英
常務取締役	村山 憲司		
取締役	奥田 弘志		
取締役	松岡 直樹		
取締役	郡山 公秀		
取締役	福本 恵		



TOPICS

～植物工場ソリューション～ 新製品「Leaf Lab」のご紹介

当社では、本格農業生産のための「大規模植物工場」から、レストランでのディスプレイや老健施設等での栽培体験に最適な植物栽培ケース「Leaf Lab」など、お客様のニーズに合わせたさまざまな規模の植物工場、栽培ユニットを取り揃えております。

なかでも新製品「Leaf Lab」は当社の大規模植物工場で培った技術を凝縮し、本格的な植物工場と変わらない性能を持っており、本年5月に開催されました『スマートグリッド展2012 植物工場・スマートアグリゾーン』に出展し、数多くのご来場者よりご好評いただきました。



「Leaf Lab」は商標登録出願中

当社展示会 今秋開催予定のお知らせ

開催予定 平成24年11月15日(木)～16日(金)
会場予定 オーバルホール
大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビルB1

内 容

当社として初めての試みとなる展示会を開催いたします。
エネルギー資源、食糧資源、地球温暖化に対する課題に対して、省エネ・安全・安心の切り口から、さまざまな技術をご紹介します。また関連するセミナーも開催いたします。
詳細な開催概要につきましては、準備が整い次第、当社ホームページへ掲載いたします。



オーバルホール